

2013年4月 川路大輔様（ひさまつクリニック、事務長）

<研修報告>

今回、下記内容をテーマに掲げ研修に臨みました。

- ①ICTを活用した業務効率化の仕組み
- ②医師・看護師のバックアップ業務
- ③書類関係の確認

（報告）

①ICTを活用した業務効率化の仕組み

桜新町アーバンクリニックはスマートフォン等タブレット端末を使用し効率よく業務を行っていました。急な診療変更もスケジュールをiPhoneで確認しながら調整していました。また薬の変更による用法・用量の変更もアプリケーションを活用することで患者・家族へ詳細に説明していました。ディクテーションの方法もとても参考になりました。当クリニックでも構築していけたらと思います。

当クリニックでもICTを取り入れていこうとしていますが中々活用できていない印象があります。うまく使いこなすためにはルールを作成・ルーチン化し慣れるまで使い続ける、訓練の時間が必要だと感じました。勉強会の開催など学習する場を提供することもスムーズに活用できる近道に繋がるのではと思います。また紙媒体の使用などアナログな運用も必要であり上手く使い分けることも大事であり、その基盤作りも自分の役割の一つだと感じました。

②医師・看護師のバックアップ業務

診療録の打ち込みや各書類の作成方法・書類管理は事務がフォローできる業務の一つです。ICTを活用することでよりスムーズに運用しているようでした。物品管理については桜新町アーバンクリニックでは看護師が行っていました。どの職種が行うかは別として確認作業をルーチン化すれば過剰発注や期限切れを防げると思います。事務職でもチェック方法を確立すれば大丈夫なのではと感じました。

③書類関係の確認

コスト用紙は取り入れて見たいと感じました。算定項目の確認や医材を管理するうえでも良いのではと感じました。桜新町アーバンクリニックはオープンカルテを行っており診療録を患者・家族へ配布しています。最初は、反対も大きかったと聞きました。しかし診療内容を提示したことで患者・家族の安心感や信頼関係も深まり最終的にはクリニックの評判にも繋がったとのことでした。リスクを恐れず自分たちの仕事に自信を持つというこ

とがいかに大事か教えられました。

【最後に】

遠矢先生はじめスタッフの皆様、お忙しい中ありがとうございました。これからも遠く鹿児島から多くのことを学ばせて頂きたいと思っております。少し話がそれますが鹿児島出身の職員が多いことにも驚きました。同じ鹿児島人として良い刺激を受けました。2日間本当にありがとうございました。またお会いできる日を楽しみにしております。